

# デザイン科学セミナーのご案内（1）

共催：日本設計工学会（幹事学会）、日本デザイン学会、日本機械学会、芸術工学会、デザイン塾

## 2025年度「デザイン科学」セミナー

～3つの新理論が、革新的開発力の“体幹”を創り出す！

日時：2026年1月9日（金）13：00-18：00 会場：オンライン（Zoom）

**対 象**：企画者，デザイナー，設計者，研究者，教育者

**日 時**：2025年1月9日（金）13：00-18：00

**会 場**：オンライン（Zoom）

**参加費**（テキスト代24,640円を含む）：

共催学会員30,000円，非会員40,000円，学生会員26,000円，学生非会員：27,000円

**テキスト**：『デザイン科学事典』，『デザイン科学概論』（Amazon科学読み物ベストセラー）

**共 催**：日本設計工学会（幹事学会），日本デザイン学会，日本機械学会，芸術工学会，デザイン塾

**W e b**：<http://www.designjuku.jp>

**申込先**：<https://forms.gle/qPstS59nnrBX5PNo8>

**締 切**：2025年12月19日（金）

**問合先**：[mlabsec@googlegroups.com](mailto:mlabsec@googlegroups.com)



# デザイン科学セミナーのご案内（2）

## 開催の趣旨

大事なことは、およそ理論では決まりません。デザインや設計においても然りでしょう。感性が大切です。しかし、プロが第一線で活躍し続けるためには、感性だけでは足りません。なぜなら、プロは様々な対象をこなすため、自分の感性にそぐわないケースも多いのです。また、自分の感性が時代に合わなくなると、よりどころがなく、発想の転換が難しくなります。優秀なクリエイターは、皆、自分なりの理論ともいえる“体幹”をひそかに持っています。

これまで、発想法やデザイン思考を学んだものの、未だ、革新的な開発に至らないと実感されておられる方は、いらっしゃいませんか？それも、開発力における理論ともいえる“体幹”の不足が原因です。

本講座では、それらのカギとなる3つの理論を解説します。併せて、それらの理論と感性との使い分けについても学んでいきます。それにより、創造的行為の本質を理解し、革新的開発力の“体幹”を身につけていただくことを狙いとしています。



## 講座の内容

本講座では、デザイン科学の基盤をなす以下の3つの理論と応用についてわかりやすく紹介します。

### 1) AGE (エイジ) 思考モデル

～人はなぜ、デザイン・設計できるのか？

人はいかにしてデザイン・設計しているのか。これは、デザイン科学の長年の難問でした。

しかし、近年、漸く、3つの思考を駆使して、創造していることが分かってきました。

本講義では、その創造の基本メカニズムをお話します。

### 2) 多空間デザインモデル

～すべてのデザイン・設計に共通する思考と応用法

上記創造の基本メカニズムに基づいたデザイン・設計における思考モデルを紹介します。また、このモデルを用いることで可能となる、具体的な創造的開発への応用法についても、その適用事例とともに紹介します。

### 3) デザイン二元論

～革新的で、完成度の高いモノ・コトづくりのために

デザイン・設計過程には、二つの過程が存在します。上流過程では「創めるマインド」のもと、革新性を生み出します。一方、下流過程では「極めるマインド」のもと、完成度を極めます。

本講義では、その両過程を行う上での「コツ」をお話ししていきます。

## 講師陣



松岡由幸  
(慶應義塾大学)



宮下朋之  
(早稲田大学)



佐藤浩一郎  
(千葉大学)



加藤健郎  
(慶應義塾大学)



井関大介  
(東京造形大学)



平尾章成  
(芝浦工業大学)



渡部武夫  
(神奈川工科大学)



下村将基  
(RICOS)